

第6回ガールズラグビーフェスティバル報告書

平成24年12月5日(水)

大会実行委員長 並木富士子

開催日：平成24年11月24日(土)

場 所：埼玉県宮熊谷ラグビー場 B・Cグラウンド

主 催：関東ラグビーフットボール協会

主 管：関東ラグビーフットボール協会 女子委員会

後 援：埼玉県ラグビーフットボール協会

協 賛：株式会社 富士住建

大会ドクター：小林正幸先生、一番ヶ瀬先生

参加チーム数：72チーム(資料1参照)

参加者数：357人(申込者数376人、欠席者19名)

小学生288人(1年生22人、2年生50人、3年生57人、4年生61人、
5年生57人、6年生41人)

中学生68人(1年生31人、2年生18人、3年生19人)

大会スタッフ：61人

関東ラグビー協会女子委員会	4名	日本協会普及・競技力向上委員会	1名
日本体育大学ラグビー部女子	17名	Rugirl-7	2名
GRACE(流通経済大学)	10名	世田谷レディース	4名
立正アルカスクイーンRFC	1名	江戸川区レディース	2名
リバティフィールドズ	1名	7人制女子日本代表選手スタッフ	19名

当日の様子・まとめ

大会前日は冷たい雨模様でしたが、当日は快晴となり例年より暖かく感じられる陽気の中、参加選手、コーチや保護者の方々、スタッフで賑やかな雰囲気で行われました。北海道、東北をはじめ遠方からの参加や、県単位での合同チーム申込みがあり、参加者の増加に繋がったと思います。そして、神奈川県(4月)と千葉県(6月)で行われているガールズ大会をはじめ、各地域での女子合同練習会も女子選手のラグビー継続と普及に大きな効果をもたらしていると思います。高学年になるとラグビーから離れる女子選手が多かったが、最近は高学年や中学生の参加者数も多く、第1回大会の時は小学低学年だった選手が、今大会は中学生の試合に出場しました。改めて大会を続けていくことの大切さを感じました。

昨年に続き、試合や練習以外の交流の場として「お友だちカードブース」を設け、カードに名前や連絡先、メッセージを記入してカードを交換できるようにしました。試合が終わると、ブースに駆け込みカードをつくり、お友だちの輪を広げている姿も見られました。目標とする女子7人制日本代表選手の測定値にどれだけ近づけるか体力測定ができる「ふるまる体力測定コーナー」では、選手だけでなく応援に来られたご家族やコーチの皆さんも楽しむことができました。

女子スタッフが各チームにつき、一緒に練習をしたり試合を応援したり、選手やコーチの方々と交流を深めることもできたり、選手の基本に忠実で激しいプレーを観て学んだり、感動しました。沢山の方々のご協力とご支援のもと、ガールズ選手がラグビーを楽しみ、そして仲間づくりができた大会となりました。ありがとうございました。

